

# 平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名	分権政策部 経営政策課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに  
 重点的取組 3 地域の特性を生かした拠点をつくり、つなげる

事業名	<b>公共施設調査事業</b>	事業開始年度	平成 26 年度
	大野支所複合施設整備基本計画策定業務	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民（大野地域）	支所庁舎のほか、新たな賑わいや活力を創出する機能を整備することにより、地域住民はもとより、地域内外の人・団体の交流を促進し、地域の拠点として、まちづくりや地域経済の活性化を目指す。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	大野地域の住民・団体	・地域住民の意向を踏まえた施設機能などの検討

### 3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）	大野支所及び周辺市有地を計画範囲とした全体的な土地利用の検討を行うとともに、新支所庁舎及び賑わい施設整備に向けた基本的な方向性を定めるため、地域団体の参画による検討ワーキングを設置し、大野支所複合施設整備基本計画の策定を行った。 (計画策定の概要) (検討ワーキング) 1. 土地利用計画 計4回開催（7月、9月、11月、3月） 1.1 土地利用の基本方針 1.2 前提条件 1.3 土地利用計画案 2. 新支所庁舎整備の検討 2.1 基本的な考え方 2.2 導入機能 2.3 想定規模の算定 2.4 基本レイアウト図 3. 賑わい施設整備の検討 3.1 基本的な考え方 3.2 整備の方向性 3.3 今後の検討 【歳出】 ・大野支所複合施設整備基本計画策定業務 4,752,000円							
	コスト情報（円）	項目	平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越		
直接事業費 A		2,675,400	4,752,000					
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金（市債）						
		その他(使用料など)						
		市（市税など）	2,675,400	4,752,000				
人件費(按分) B	0.50 人 4,243,000	0.50 人 4,287,000						
総事業費(A+B)	6,918,400	9,039,000						
単換算	① 人口(4月1日現在)	117,680 人	117,182 人					
	② 市民1人当たり	59	77					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考	
	活動	市民参画の機会創出		WS 3回	WS 4回			
	成果	施設整備の具体化		基本計画策定	基本計画策定	実施設計		